



仙台の子ども達と遊ぼう 活動報告書

2011.12.14～12.18

モチヤ
MOCHA

仙台入り

12月14日(水)

□東北教区災害ボランティアセンター
浄土真宗本願寺派 仙台別院
□仙台到着後すぐに入所。スタッフ4名、
リーダー廣川氏、都築さん他坊さん
横田氏

□宿泊先は元あさか幼稚園。今春廃園してその園舎をボランティアに開放している。

□7時お勤め、18時ミーティング

□主な活動：石巻ショウホウ寺？（浄土真宗本願寺派）周辺の遺留物の清掃、墓地に流れ込んだ遺留物の収集活動、千人風呂支援物資の搬入。

地域支援活動：名取市ミタ園？（仮設住宅）での傾聴活動、吊るし雛作成、

□オレゴン在住広木ショウタ君：オレゴンからネックウォーマーの製作・寄付。

元坊さんの横田氏、大阪から来ていた皆さん等とも親しくさせてもらった。

□青葉区東照宮：参道の灯籠は未だ倒壊のまま。津波による被害ばかりに集中していたが、地震の規模も大きくあちこちにこうした地震の被害が残っているようだ。

□また市内でも仙台メディアテイクは上層階で工事をしている様子。

□のびすく仙台にて今回すべての訪問先のコーディネートをしていただいた伊藤 仟佐子氏 とスケジュール調整



ろりぽっぷ幼稚園

12月15日(木)

□工作づくり

クリスマスリースづくりーリサイクルした牛乳パックを使ったリースづくり



□屋外でのサッカー遊びが一時雨のため中止となりその園児も参加したため予想外の人数となり、全ての園児をみてあげる余裕がなかった。



□元気先生はじめスタッフ大勢の方の手助けで何とか製作をつづけることができた。

□対象園児が年少組から年長組まで3年の差があったので出来る事、出来ない事の差が大きくハサミ遣いもままならない子もいた。牛乳パックの切り込みまでやっていた方が良かったかもしれない。



□園児と一緒に給食。初めての体験でミズもシンもとても楽しそうだった。

□プレゼントの贈呈式。サンタの格好に皆喜んでくれたようです。



□ゆりの樹幼稚園:高杉先生からいただいた絵本も1冊贈呈。

ニッペリアあそび場

12月15日(木)

午後:14:00~17:00

ニッペリアあそび場

□二辺(にっぺ)という地域。東部道路のすぐ近くで、その東側は津波被害を受けその被災者を収容する仮設住宅が建てられた。

□NPO冒険あそび場ネットワークの高橋悦子さん、オカン、根本さんと顔合わせ

□プレゼント1セット贈呈

□横のニッペリア仮設住宅はちょうど雨どいの取付作業中、表通り側にある花壇の花にホッとします。

□大エセットで小5年3人組が必死に椅子を作っていた。

□高校生が1人参加、途中でサッカー、ドッチボールを始める。

□来る子はみんな「オカン、オカン。」とオカンさんになついている。

□ミズ:途中で帰省

仙台16:35発 福岡18:45着

(ANA3184)

□眞をニッペリアあそび場に残して空港までミズを見送る。帰りは10号線で北上するが、途中あちこちで船がまだ転がっている様子は異様。向こうには生死を分けたといわれる東部道路が南北に走っているのがわかる。



西部児童館りふーる

12月16日(金)

午前 10:00～

□ミヤさんこと宮崎さんと打合せ
スタッフ: ヌー、ミヤさん、ヨーカン、ワツタ、アイボー他

午前の部

□親子連れ4組ほどを相手に手遊び

○親子で遊ぶ、スキンシップ目的

□でんでん虫

□月がでたでた

□ゾウさん

□小さな子が多くなかなかみんなそろ
うことはなく、進めるタイミングが難しい。
ミヤさんにフォローしてもらおう。

□モチャのおもちゃを広げると途端に
子どもたちは目を輝かせて遊び始めた。
お母さん達におもちゃの説明をする。

お昼

□スタッフ全員で楽しく弁当でランチ。
デザートは中身がずんだ等が入ったモチ。
とてもおいしかったです。

午後の部

□工作教室:

○牛乳パックーフリスビー

○ストローひこーき

○ストローとんぼ

○ストローふえ

□学校帰りの子ども達が次から次に現
れては、工作を作り、遊び、交代してい
きました。もう少しゆっくりやった方が良
かったかもしれない。



塩竈神社・塩釜港

12月16日(金)

昼休み

昼食後、午後の部までの時間を使い塩釜へ。

□まずは塩竈神社。ここはミズのお宮参りに来た懐かしい場所。震災当時は参道下まで津波が押し寄せ、ここが避難場所になったらしい。

本堂は何ともない様子だったが、手水場の柱を取り替えていた。

□駐車場側の参道下にりふーるスタッフの両親が営むケーキ屋「サントーレ」があるということで、そちらに寄る。

とても優しいご両親でロールケーキを購入すると、お土産にクッキーをいただく。ここも店舗が腰上まで浸水したが、たくさんの方々の助けで営業再開することができたそうでとても感謝されていた。

□マリゲートまで行く。この辺りの被害は甚大だったそうだが、マリゲートも営業を再開していたが、その裏はまだ道路も舗装されていない状態だった。



七郷あそび場

12月17日(土)

10:00~16:00

担当:高橋 悦子

スタッフ:オカン、ブッチャー(岩淵)、
ヤマ(山本研修)さん達、神宮寺(草
笛名人、ブッチャーさんの師匠)、学
生ボランティア

□10時スタート:大エコーナー、草笛
コーナー、ゲームコーナー、落書きコ
ーナー等いくつかの遊びの場所づく
り。その一つにコマづくりワークショ
ップのコーナーも作ってもらおう。

□八女独楽ワークショップのコーナー
を作る。(独楽工房隈本氏より提供)

コマ本体に彩色、芯打ち、コマの回し
方、コマ遊び

その他の遊び

○草笛体験

○クリスマスリース作り

○ソリづくり

□寒さの中、一日中外遊び。お昼ご
はんも外で食べる。スタッフもタフで
ないとやっていけない。

□ソリづくりをしていた女の子3人組
は暗くなってもやめようとせず、我々
が他の片づけが終わった5時頃よう
やく完成。自転車でソリを引っ張りな
がら帰っていった。



のびすく仙台

12月18日(日)

10:00~12:00

担当:伊藤 仟佐子

□親子遊ぼう

○親子あそび:ボール投げ、けいとボール投げ、

○指あそび:でんでんむし

○体あそび:しあわせなら手をたたこう

□寒さのせいか利用者の出足が鈍く、来館者が少なかつたため、プログラム通りにはいかなかった。

□絵本「すーちゃんがんばりやさん」(高杉美稚子 作)のはじめての読み聞かせ。練習はしていたが、やはり緊張、場馴れが必要なことを実感した。

□サンタさんからのプレゼント贈呈:初めて見たのか泣き出す子もいました。

午後:帰省

サト満一家がのびすく仙台まで来てくれてお借りしていた車を返して仙台駅まで送ってもらう。

仙台14:05発 福岡16:15着

(JAL3534)

無事到着。



番外編

仙台にて

□長女ミズは仙台産。杜の都仙台にちなんで、瑞々しい樹木のように育ててほしいという願いを込めて「瑞樹」と名付けました。

□東照宮の隣のサンライズ東照宮というマンションに住んでいました。東照宮へは裏道を通って散歩していました。瑞が参道の階段を転げ落ちたのを思い出します。

□そのすぐ近くの今泉産婦人科で長女は生まれました。

□仙台に到着した夜、仙台在住時代から家族ぐるみで付き合っている二家族(佐藤家、村岡家)が集まって夕食会をしました。震災直後は連絡がなかなか取れず心配でしたが、両家族とも無事でした。久々の再会で楽しいひと時でした。

□定禅寺通りのイルミネーションはやはりきれいでした。二日市の中央通り商店街とはそもそもケヤキの大きさが違います。このイルミは震災で倉庫がやられて2/3ほどのイルミがダメになり開催が危ぶまれましたが、全国から開催を望むカンパが届き無事開催することができました。

□食事ぐらいはきちんとしたものを食べよう。牛タンは仙台が発祥の地です。

